



2020年度ドイツ薬局研修をオンラインで開催

国際交流センター

2020年度のドイツ薬局研修は、Zoomを用いてオンライン形式で、3月8、9、11日の3日間（90分×3回）の日程で開催いたしました。本来ならばCOVID-19の影響でドイツに渡航できないため、やむなく中止となるどころでした。しかし、このような状況だからこそ、日本以外のCOVID-19の感染状況やCOVID-19禍での薬局・薬剤師の取り組みについて、正確でかつリアルタイムな情報を現地から直接聞く良い機会ではないかと考えました。毎年研修でお世話になっている、ドイツ・ロッテンブルクアムネッカーでセントラル薬局を運営されているアッセンハイマー慶子先生にその思いをお話したところ、講師を快く引き受けてくださいました。

研修は日本時間19時（現地時間11時）から90分間で、アッセンハイマー慶子先生にドイツから講義、質疑応答をしていただきました。受講生は、日本の薬局実習を経験している5年次生で、病院実習、就職活動、研究活動等で忙しい中、18名の学生に受講いただきました。3日間の研修テーマと受講生の感想の一部を次ページの通り抜粋しましたので、共有させていただきます。

最後になりますが、COVID-19感染拡大により薬局業務が多忙を極める中、本研修にあたり、ドイツの薬局業務・薬剤師としての在り方について懇切丁寧、熱心にご指導下さったアッセンハイマー慶子先生にこの誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。

薬品分析学分野教授 国際交流副センター長
武上 茂彦



セントラル薬局内のラボの説明

CONTENTS

■ 特集

- 2020年度 京都薬科大学 履修証明プログラム
「Lehmannプログラム」1年目を終えて…………… 6

■ ご挨拶

- 新任・昇任のご挨拶…………… 3

■ お知らせ

- お知らせ…………… 4
京薬会だより…………… 4
人事…………… 5
薬用植物園の公式Instagramを始めました…………… 9
Library News…………… 11
2021年度試験日程について…………… 12
生涯教育センターからのお知らせ…………… 16
2022年度 京都薬科大学入学試験について（概要）…………… 17
2022年度 大学院入学選考概要…………… 18
歴史資料室だより…………… 21

■ コラム

- 卒業生からのメッセージ…………… 9
水中でぶつぶつ…………… 10
私の薦める、私の一冊…………… 12
十人十色 一京薬周辺でバードウォッチング！…………… 13
学生相談室だより…………… 15

■ 報告

- 2020年度ドイツ薬局研修をオンラインで開催…………… 1
English Training for Clinical Triarsを開催しました…………… 14
令和3年度科学研究費助成事業 採択状況…………… 20
受賞・掲載…………… 22
京都薬科大学奨学寄附金芳名録…………… 24

■ イベント

- 2021年度新入生向けクラブ・サークル紹介…………… 12

■受講生の感想

【1日目テーマ：薬剤師の基本姿勢】

- ・ドイツと日本の国・国民性の違いが、薬局のシステムの違いに反映されていることが印象的だった。「なぜそうなっているのか」を考え、自ら積極的に患者さんと関われる薬剤師を目指したい。（杉森 菜々子）
- ・ドイツの国民性からご説明いただき、想像が付きやすかった。ドイツでは薬剤師がかなり重要な職業として国民が認識しているようで羨ましく感じた。（永松 里奈）

【2日目テーマ：コロナ禍中におけるドイツ薬局の取り組み】

- ・ドイツの薬剤師の方々が持っておられる“薬局は何でもやる、薬局から発信する”という精神が本当に素晴らしいと思った。特にマスク着用を促進させるために新聞社やラジオ局にはたらきかける取り組みは想像もつかなかった。そういった取り組みが患者さん、また政府からの信頼に繋がっていることがよく分かった。（窪田 容子）
- ・オンライン薬局が売上を伸ばす中、対面業務を重視してかかりつけ薬局の意義を確立しているという話に心を惹かれた。タイムラグのあるメールと違い、今、目の前で悩んでいる人を助けることは私が憧れた薬剤師の姿だったと思いだした。（畑 菜々美）
- ・検索作業によって多々ある医薬品・製品情報の中から信頼できるものを抽出するスキルを磨く必要があり、基礎知識がないと情報を絞ることは難しいというお話が印象に残った。（池上 晴香）
- ・コロナ禍で薬剤師ができることとして、医療が滞らないように医薬品の供給を維持することと、不安な患者さんの心の支えになることがあると学んだ。緊急事態にあるからこそ、薬剤師としてできることは何かを考え、できることを率先して行えるように努めたい。（谷 英理可）
- ・コロナ禍のドイツの薬局での取り組みは、手洗い、手指消毒、マスク着用の奨励などの基本的な感染症予防対策だけではなく、患者さんの心のケアまでに及んでいることがとても素敵で、町の健康を守る薬剤師さんの本来の姿であるように感じた。（嶋田 佳子）

【3日目テーマ：皆さん、かかりつけ薬剤師を目指そう】

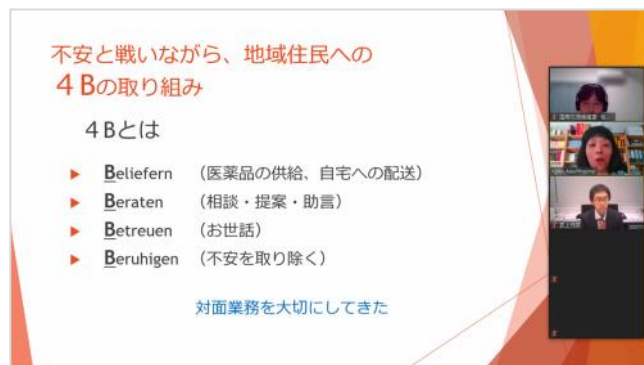
- ・患者さんに寄り添うとは、どういうことだろう？と就職活動を進める中で悩んでいたが、本日の講義を受けて寄り添うとは提案が出来る薬剤師だと、良く理解できた。先生の教える通り、患者さんに質問してみることから始めてみたい。（窪田 容子）
- ・一番印象に残ったこととしては、頼られる薬剤師になるには薬剤師の基本姿勢を崩さないということだった。薬剤師は科学者であり、研究者であり、職人であり、日々様々なことに向き合っていく中で、常に疑問をもって確かめることを怠らないことや、多くのことに興味関心を持つことを心がけることの大切さを改めて認識した。（篠原 優）
- ・薬剤師であれば患者さん全員に対してかかりつけ対応するべきであり、各疾患についての専門性を高めて服薬指導していくことが当たり前だという先生の考えに、とても共感できた。数年先までしか描けていなかった“自分がなりたい薬剤師像”を数十年先まで描けるようになり、とても有意義な時間を過ごすことができた。（西海 和花奈）
- ・薬剤師として、日・独のいい所を取り入れたような存在になれるよう、日々探究心を忘れず、何？なぜ？を考えることを意識していきたい。（山下 真歩）
- ・薬剤師の職能を発揮するためには、日本の制度にはまだまだ改善すべき点がたくさんあると感じた。今まで計数調剤や加算報酬の計算、一包化などは当たり前のもので、必要かどうかさえ考えたこともなかったが、ドイツではそれらは行われておらず、代わりに患者さんとのコミュニケーションや提案に時間を割けると聞き、日本でも業務の見直しは必要ではないかと思った。（田中 文）



探究心・独学力を磨こう

- ▶ 薬剤師はいつでもどこでも科学者・研究者（薬剤師の基本姿勢）
間違ってもいい、自分で考えて答えを出す訓練を続ける
大学生時代が最適かつ最後のチャンス
- ▶ 1つテーマを決めて徹底的に調べてみる（興味のあることであれば何でも良い）
この作業を生延ばす、好きなテーマを沢山見つける
- ▶ IT・AIを駆使した情報収集で情報の善し悪し判断力を磨く
情報の選択・分類・ファイル
必ず出典、自分のコメントと日付を記録しておく
- ▶ もっとと自然を観察してみよう
四季のはっきりした美しい日本 動植物の種類多
必ず新しい発見がある
意識して見る → 必ず薬学につながるものがある

薬学生に伝えたいことの説明



不安と戦いながら、地域住民への4Bの取り組み

4Bとは

- ▶ **Beliefern** （医薬品の供給、自宅への配送）
- ▶ **Beraten** （相談・提案・助言）
- ▶ **Betreuen** （お世話）
- ▶ **Beruhigen** （不安を取り除く）

対面業務を大切にしてきた

コロナ禍におけるセントラル薬局の取組の説明

新任のご挨拶



事務局
庶務課

すなだ しんや
課長補佐 砂田 真也

2021年4月1日に採用され、庶務課に配属となりました。私はこれまで、本学と設置形態の異なる国立工科系大学で35年間、大学事務に携わってまいりました。前職では、若手の頃に会計系、中堅では文部科学省との折衝事業（設置審査、概算要求等）、直近

では、総務・企画・評価・広報などの業務を担当しておりました。同じ大学事務ではございますが、「国立」から「私立」に、「工学」から「薬学」に変わり、新たな知識を吸収できることに大きな喜びを感じております。

島根県出身で、学生時代はサッカー、社会人ではテニス、マラソンをやってきましたが、最近は専ら観戦する側にまわっています。

高等教育、とりわけ大学を取り巻く状況は厳しいものとなっておりますが、本学の付加価値を高めるべく、これまでの経験、知識、人脈を活かし、微力ながら尽力いたす所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



事務局

事務局次長（管理等担当）
まつだ しげふみ
松田 成史

2021年5月1日付けで、事務局次長（管理等担当）を拝命いたしました。私はこれまで、文部科学省や国立大学法人等で主に総務・人事を中心とした管理系の業務に携わってまいりました。

130余年の歴史の上に、「社会の変化に先んじて薬学の発展を先導するための進化＝『社会を動かす薬学

へ。』」に取り組んでいる「京薬」の理念に強く惹かれており、その活動の一端に関わっていきたいと考えております。

現況のコロナ禍をはじめとして、大学を取り巻く状況は大変厳しいものがありますが、マスタープランにある「盤石な経営・財政基盤と教職協働による大学経営」の実現に向けて取り組んでいく所存です。

そのためには、日々のコミュニケーションを大切にして、組織としての一体感を持ち、職員が教員と協働して大学経営の担い手として取り組んでいけるように心がけていきたいと考えております。

ご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

昇任のご挨拶



事務局
企画・広報課

やまぐち たかし
課長 山口 貴

本年4月1日付で事務局企画・広報課長を拝命いたしました。大学卒業後、民間企業を経て、本学に入職して16年目になります。これまで入試課、企画・広報課、庶務課の3課で業務を経験し、対外的な入試広報業務から、対内的な法人関係、庶務関係まで幅広く担当して参りました。

大学を取り巻く環境は厳しさを増していますが、今年は、第4期中期計画の策定や大学基準協会及び薬学教育評価機構の評価を受けるための調書作成や自己点検期間が重なることから、大変重要な1年となります。

広報活動については、本学の教育研究活動等の情報を積極的に学内外に発信し、大学の価値向上に繋がっていきたいと考えております。

これまでの経験を活かして、微力ではございますが、本学の発展に少しでも貢献できるよう、努めたいと思っております。引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



事務局
入試課

こんどう としひこ
課長 近藤 利彦

2021年4月1日付で入試課長を拝命しました。入試課という新しい仕事と役割に責任を感じております。

大学をめぐる環境は、厳しさを増しております。よく言われております18歳人口の減少や、最近では新型コロナウイルス感染症の影響が入試結果などに

も現れています。そのような状況での入試広報、入学試験について、これまで以上に工夫が必要であると考えています。

また、薬剤師や薬学を学んだ卒業生の社会での役割について、より重要性が増すと思っています。これまで、私は教務課と進路支援課で仕事をしてまいりました。この経験をいかして、これから本学の仲間になろうと検討している方に、本学と薬学の可能性を伝えていけたらと考えています。そのためには、多くの方の協力が不可欠だと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

News お知らせ

庶務課

■ 2020年度 卒業証書・学位記（学士）及び学位記（博士）授与式

2020年度卒業証書・学位記（学士）及び学位記（博士）授与式を、2021年3月20日（土・祝）午前10時から創立130周年記念館で執り行いました。今年度は参加者の人数制限、間隔を空けた座席の配置、式典参加者の2週間前からの検温チェック及び健康観察表の提出などの感染症対策を行い挙行了しました。参加者制限のため会場に入れなかった保護者向けに式典の様子をWeb配信及びオンデマンド配信にて行いました。

薬学部薬学科318名に卒業証書・学位記（学士）、大学院 薬学専攻博士課程10名及び課程によらない博士（薬学）3名に博士（薬学）、大学院薬科学専攻博士後期課程1名及び課程によらない博士（薬科学）1名に博士（薬科学）の学位記が課程ごとの代表者に後藤学長より授与されました。



卒業証書・学位記授与の様子

■ 2021年度 入学宣誓式

2021年度入学宣誓式を、2021年4月1日（木）午前10時から創立130周年記念館で挙行了しました。2021年度新入生数は、薬学部薬学科374名、大学院 薬学研究科薬学専攻博士課程11名でした。卒業式と同様の感染症対策を行い、参加者制限のため入場できなかった保護者向けに式典の様子をWeb配信及びオンデマンド配信にて行いました。



後藤学長の式辞

News 京薬会だより

<卒業式への臨席>

卒業式が3月20日（土・祝）に挙行されました。京薬会からは西野会長が臨席し、新たに京薬会正会員となる卒業生の皆さんにお祝いのメッセージならびに京薬会オリジナルイメージキャラクター「ケッシー」をあしらったグッズを卒業記念品として贈りました。

コロナ対策の式典となり祝賀会も開催できませんでしたが、卒業生の皆様は新たな環境のなかで長い人生の確立に向け更なる活躍を期待します。

<京薬会代議員総会の日程（お知らせ）>

令和3年度（2021年）代議員総会は、7月24日（土）にオンラインで開催します。コロナ感染拡大に伴いオンラインによる総会となりますが、詳しくは京薬会ホームページでご案内しています。



卒業記念品

京薬会ホームページ <https://www.kpu-aa.com>



採用

事務局庶務課 課長補佐 砂田 真也
(2021. 4. 1付)
事務局 次長〔管理等担当〕 松田 成史
(2021. 5. 1付)

薬学教育系教育研究総合センター

臨床薬学教育研究センター 特命教授 岡田 博
薬学教育系教育研究総合センター
臨床薬学教育研究センター 特命教授 南橋 薫
薬学教育系教育研究総合センター
臨床薬学教育研究センター 特命教授 山内 一恭
(以上2021. 4. 1～2022. 3. 31)
薬用植物園 契約専門職員 尾崎 和男
(契約期間：2021. 4. 1～2022. 3. 31)

昇任及び配置換

事務局企画・広報課 課長 山口 貴
(前 事務局庶務課 課長補佐)
事務局入試課 課長 近藤 利彦
(前 事務局教務課 課長補佐)
事務局教務課 主査 太田 寛之
(前 事務局入試課 主事)
(以上2021. 4. 1付)

配置換

事務局進路支援課 課長 井本富美代
(前 事務局入試課)
事務局学生課 主査 増村 友美
(前 事務局進路支援課)
事務局入試課 主査 外村 友彦
(前 事務局学生課)
(2021. 4. 1付)

任命

創薬科学フロンティア研究センター長
創薬科学系薬品製造学分野 教授 山下 正行
共同利用機器センター長
創薬科学系薬化学分野 教授 古田 巧
薬用植物園長
公衆衛生学分野 教授 渡辺 徹志
臨床薬学教育研究センター長 副学長 赤路 健一
創薬科学系長 教授 古田 巧
生命薬科学系長 教授 長澤 一樹
病態薬科学系長 教授 秋葉 聡
医療薬科学系長 教授 村木 優一
基礎科学系長 教授 野崎亜紀子
(以上任期：2021. 4. 1～2023. 3. 31)
分野主任 准教授 中村 誠宏
(生薬学分野)
(2021. 4. 1付)

兼務解除

事務局実務・生涯教育課 課長 川勝 章広
企画・広報課長兼務
(2021. 4. 1付)

再任

医療薬科学系薬剤学分野 准教授 勝見 英正
創薬科学系薬品製造学分野 助教 岩崎 宏樹
生命薬科学系病態生理学分野 助教 戸田 侑紀
生命薬科学系公衆衛生学分野 助教 松本 崇宏
薬学教育系教育研究総合センター
学生実習支援センター 助手 徳山 友紀
(以上任期：2021. 4. 1～2026. 3. 31)

出向受入

事務局進路支援課 担当課長 高田 眞介
(出向期間：2021. 4. 1～2022. 3. 31)

退職

創薬科学系生薬学分野 教授 松田 久司
共同利用機器センター 准教授 長谷川功紀
分析薬科学系薬品物理学分野 講師 濱 進
事務局図書館 参事 松田 敏
事務局進路支援課 課長 岩澤 伸裕
(以上2021. 3. 31)

契約期間満了

分析薬科学系代謝分析学分野
教育研究支援教員 助教 有光 健治
創薬科学系生薬学分野
教育研究支援教員 助教 中嶋 聡一
病態薬科学系薬理学分野
臨床研究・実務指導教員 助教 丹羽 里実
薬学教育系教育研究総合センター
臨床薬学教育研究センター 特命教授 高山 明
薬学教育系教育研究総合センター
臨床薬学教育研究センター 特命教授 小野 敏明
薬学教育系教育研究総合センター
臨床薬学教育研究センター 特命教授 北村 良雄
(以上2021. 3. 31)

2020年度 京都薬科大学 履修証明プログラム 「Lehmannプログラム」1年目を終えて

生涯教育センターのリカレント教育プログラムで、本学初の履修証明プログラムである「Lehmannプログラム」を昨年度開講し、「1期生」の修了認定を行いました。2020年度はCOVID-19の影響で、先行きの見通せない状況が続き、多くの混乱が生じましたが、大学関係者、履修生への感染対策を徹底し、開講時期を当初の4月から緊急事態宣言が解除された6月に繰り下げ、何とかスタートすることができました。このような状況の中、薬剤師として各自の職場（薬局・病院）で勤務されながら、学びを止めることなく本プログラムを修了された12名の修了生の皆様、また、履修生を熱心にご指導された学外講師・本学教員の先生方に敬意を表し、この場をお借りして御礼申し上げます。

本稿では、本プログラム開講初年度の様子を紹介いたします。ご覧になられた方々が興味を持たれ、受講されることにつながれば幸いです。

生涯教育センター長 楠本 正明

Feature article.

COVID-19禍でのスタート

2020年度はLehmannプログラムの開講初年度でしたが、COVID-19禍により、全国的に緊急事態宣言（4/16～5/31）が発出されたため、本学は教育研究活動を一時中断せざるを得ない状況となりました。その後、京都府の緊急事態宣言は5/21に解除されたため、感染防止対策を徹底し、当初の予定を繰り下げて「6月7日（日）」を初回スクーリング日とし開講に至りました。初日は11名の履修生が出席しましたが、緊急事態宣言明け直後ということもあり、行動制限等が完全に平常化した訳ではなかったため、4名の履修生については「リモート」での参加となりました。このことは履修生に限らず、学外の担当講師の先生方についても同様で、「リモート」による講義が行われることになりました。今でこそ、オンライン講義として定着しつつありますが、昨年度の初期には試行錯誤を繰り返し、機器操作やシステムトラブル等を回避して円滑な講義とするために、実務・生涯教育課の職員が「履修生向けのマニュアル」の整備を行い、事前に履修生全員とパソコンの通信環境を確認するテストを行い、初回スクーリングに向けて万全の準備を行いました。



学長挨拶によりLehmannプログラムが開講



論文検索術概論の講義の様子



学外講師のリモート参加による
オンライン講義の様子

カリキュラムの特色

2020年度は、学会等の認定・専門薬剤師資格取得の要件にも求められている「症例報告書」を作成するために必要な薬学的視点に基づいた症例解析や、症例報告書作成の基本的事項を学ぶ「症例報告書作成コース」を開講しました。本プログラムの特徴として、資格取得を支援するために必要な専門系科目（コース専門科目、基礎薬学、応用薬学、統計学）のほか、「将来の薬学領域のリーダー」の育成を行うために、「薬学領域におけるリーダー養成基礎科目」、「医療と芸術」、「医療におけるAI^{*1}・ICT^{*2}活用」に関する科目を用意しました。なお、社会人対象のプログラムであるため、e-learningコンテンツの活用や「Teams^{*3}」によるリモート指導による学習を取り入れたことも大きな特徴と言えます。

^{*1}: Artificial Intelligence（人工知能）

^{*2}: Information and Communication Technology（情報通信技術）

^{*3}: Microsoft社が提供するツールで、オンライン会議やチャット等を行うことができる

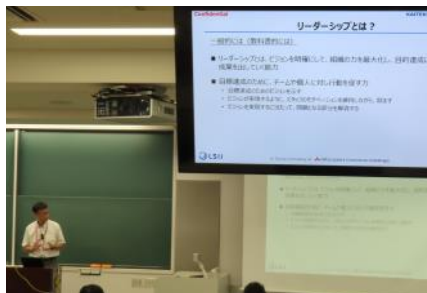
《薬学領域におけるリーダー養成基礎科目》

専門・認定薬剤師をはじめ、薬学領域で薬剤師を指導・監督する能力を備えたリーダーとしてのあるべき姿を考察できるようになることを目標としています。リーダーシップ、コーチングに関する科目のほか、「EBM^{*4} 学習」により、論文評価や日々の業務に臨床研究論文を取り入れ、役立てるための方法を修得。また、リーダーとして魅力的かつ効果的な発信ができるよう「プレゼンテーション」に関する科目（プレゼンテーション概論：e-learning科目）等を用意しました。

^{*4}：Evidence-Based Medicine（根拠に基づく医療）



学長による「リーダーシップ論(1)」



木曾講師（本学理事）による
「リーダーシップ論(2)」



内藤講師による「コーチング概論」

《医療と芸術》

在宅医療での「多職種連携」や医療現場での「接遇」など、薬剤師にも他者との密接な関わりが求められています。これは、「豊かな人間性」が求められているということであり、本講義では、芸術作品の鑑賞を通して、他者を理解し許容する幅広い人間力を磨くことを目標としています。「豊かな人間性」をはぐくむことは、本学が目指す「ファーマシスト・サイエンティストの育成」にもあるScience（科学）、Art（技術）、Humanity（人間性）のバランスの取れた人材にも通じる部分だと言えます。



京薬ギャラリーの作品も講義に大活躍



詳細を伏せた絵画を鑑賞し
そのイメージを発表するワーク



芸術品に関するイメージを発表し
様々な視点を全体で共有

《医療におけるAI・ICT活用》

将来の医療現場への「AI」の導入、「ICT」技術のさらなる革新により、医療情報の提供や情報共有のあり方が変化しています。本講義では、AI・ICTの概要を学び、これらの技術が導入された医療現場での利活用等について考案できるようになることを目標としています。スクーリング当日は、AI・ICTの歴史と現状を学んだ後、グループに分かれて、履修生の職場の課題の洗い出しと、それらの課題をAI・ICT技術を活用して解決する方法の検討を行い、グループ発表を行いました。



藤本講師による「AI・ICT活用」



グループのプロダクトを
協力して作成



「AI・ICT活用」
グループワーク成果発表

《症例検討会から症例報告会へ ～メンター教員の手厚い指導～》

本プログラムは、履修生2～3名に対して1名の指導教員（メンター）が、きめ細やかな演習指導を行うことも大きな特徴です。症例報告書作成のために必要な講義科目を履修し、履修生自身が介入した基本的な症例について、各メンターの指導の下、複数の専門・認定薬剤師資格の取得に対応した症例報告を作成できるようになることを目標としています。前期の後半頃（8月29日）に「症例検討会」を開催し、履修生は自験例についての概説（発表）や、他者の症例報告等に建設的な意見を述べるなど、活発な検討会が行われました。その後は、いよいよ本プログラムの集大成である「症例報告書」の作成に着手し、2月6日の症例報告会に臨みました。発表20分・質疑応答10分の配分で、履修生は自験例を発表。メンター、履修生から活発な質疑応答、意見交換が行われました。



《症例検討会》症例報告の内容を履修生・講師らと検討しブラッシュアップします



《症例報告会》報告について活発な質疑応答が行われました



全プログラム終了、お疲れ様でした

《修了課題の作成、本学紀要への投稿》

本プログラムの修了要件は、「所定の講義・演習を60時間以上履修」及び「症例報告書（1例）の作成」としています。上記の症例報告会での発表内容を各自まとめ、「修了課題（症例報告書）」として提出いただきました。なお、この症例報告書は、本プログラムの報告として「京都薬科大学紀要第2巻第1号2021」に掲載される予定です。

紀要は本学の「学術情報リポジトリ」から閲覧が可能です。

URL：<https://kyoto-phu.repo.nii.ac.jp/>



■修了式を迎えて

2021年3月14日に本学において、Lehmannプログラム第1期生12名の修了式を挙行了しました。後藤学長、楠本生涯教育センター長の挨拶の後、履修生に履修証明書が後藤学長より授与されました。

なお、修了式の模様は『薬時日報（2021年3月24日）』に記事掲載されました（記事については23ページ参照）。



履修証明書を手に記念撮影
（当日は9名出席）

■今後のLehmannプログラム

2021年度Lehmannプログラム（2期生）は、現在14名の履修生が学んでいます。Lehmannプログラムの構想時には、「症例報告書作成コース」のほかに、「研究計画・実践コース」及び「論文作成コース」の開講を予定していましたが、COVID-19禍の影響や、諸般の事情により開講には至っていませんでした。本プログラムの初年度を終え、運営を担う学内組織「リカレント教育推進委員会」で検討を行い、2021年度からは、Lehmannプログラムのコアになるコースとして「症例報告書作成コース」を位置付け、同コースの修了生を対象に、アドバンスコースとして「研究計画・実践コース」及び「論文作成コース」を開講することを決定しました。現在、1期修了生の3名から「研究計画・実践コース」の希望が出されており、Lehmannプログラムは新たな段階にステップアップします。

【問合せ先】

京都薬科大学 実務・生涯教育課

*E-mail：s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

*TEL：075-595-4677

*FAX：075-595-4792

今年度の4月1日より、薬用植物園の公式Instagramを始めました。

本学は、伏見区日野林にある京都薬科大学 薬用植物園と、グラウンドに併設された補助園である御陵園という2つの植物園を持つ珍しい大学です。伏見区の植物園は御陵園の5倍程の広さがあり、主に教育研究活動や遺伝資源の保全を目的として、御陵園では栽培できない植物も多数栽培しています。そういった植物を中心に、植物の写真と解説をアップしています。

ご興味がありましたら閲覧・フォローよろしくお願い致します。



卒

業生からのメッセージ

Column.



Be active!!

なかたに つねとし
中谷 庸寿



2010年 博士前期課程修了
(衛生化学分野)

Helmholtz Zentrum
München 研究員

私の京都薬科大学ライフは研究室配属から始まったと言っても過言ではありません。「知識と技術があれば自分の興味の対象について世界で誰よりも深く、そして早く知ることが出来る」という研究の魅力に取り憑かれ、それまで受け身だった座学から一転して自発的に学ぶことを始めました。この時、右も左も分からない一学部生に多くの時間を割いて快くご指導くださった衛生化学分野の藤本貞毅名誉教授、長澤一樹教授には今でも感謝の気持ちで一杯です。

私は現在、「生命が誕生した直後の時期“初期胚発生”」に着目し、受精卵というたった一つの細胞がどのようにして個体の形成に必要な能力を獲得するかを、ドイツのHelmholtz Zentrumで研究しています。職場には常時10カ国以上から集まった年齢や宗教、専

門分野も異なる同僚達がおり、そんな彼らと目的を同じにして切磋琢磨する日常は、大変ですがとても充実しています。薬剤師資格を必要とせず製薬とも関係の薄い研究分野ですが、研究遂行に必要な基礎に関しては万国共通であり、京都薬科大学の衛生化学分野で学んだ知識や経験、そしてコミュニケーション能力が海外で働く上での礎となっています。

薬学を学ぶ学生にとって何の迷いもなく薬剤師資格を活かせる進路を選ぶことが出来るのであれば、それに越したことはないと思います。しかしながら、進路に疑問を感じる事があれば、自分のやりたいことは何なのか、薬学の枠を超えてでも一度考えてみると良いかと思います。たとえ分野が違ったとしても、薬学部で学んだ知識は無駄になりません。それどころか他の学部では学ぶことの出来ない薬学の知識は、どの分野においても重宝されるものだとは感じています。新しいことにチャレンジするには時間も労力も勇気も必要ですが、楽しいと思えることであれば自然と足取りも軽くなると思います。そしてチャレンジする時に支援してくれた周りの人達や、志を共にする仲間を大切に、どんどん可能性を広げていって下さい。

最後に、私が人生の岐路に立った時には必ず思い出す言葉であり、衛生化学分野の長澤一樹先生からいつも送っていただいていた言葉がタイトルにありますので、皆さんも進路の選択に迷った時には思い出してみてください。

「もし喉が渇いているなら、上の箱にお支払いしてお飲み下さい。—正直であることを信じています。ジョナサン・ワアー」。

京都・清滝川の岸辺に、赤ポストが料金箱で、うふふの日本語の案内文が添えられた無人商店があった。この商店はなんだろうか。手に取った途端、樹林や水中から可愛い人が出てくるといふ筋書きはないものとして。



赤ポスト商店@京都一周トレイル・西山4 米買い道分岐 (210227)

価格表には、コーヒーと紅茶150円、水とお茶200円、スポーツドリンク250円とある。平地価格に50円から100円程度の上乗せだろう。

この料金は高いかどうか。前の橋を渡って、坂道を5分ほど歩けば狭い自動車道に出るが、店屋どころか、自販機もない。あるのは「アユ・アマゴの遊漁料金表」と「最寄りのバス停までは結構遠いよ」を知らせる看板だけがある。如何だろうか。

ここを通るハイカーは土日でも一日十数人くらいだろう。私のように買いもせず、写真だけというやからも少なくはないだろうし、飲料水を忘れてきて、助かったという方はまずいないだろう。ということから一日の売り上げがゼロということもあるかも知れない。しかし、清滝に近い愛宕山の“火迺要慎”の神が気まぐれに降臨し、そのおかげで売り切れたとしよう。商品は7本だから儲けは600円程度。

この商店の目的はなにか。収入か、喉が渇いた人を助ける事業か。料金を示し、正直であることを信じておられるのだから、単なる慈善事業とは思えない。

私ごとであるが、幼少・青年期をひとなみの速度で通り越し、壮年になった時分にインターネットが始まった。LAN、Wi-Fi、そんな高速変異株は一般社会では想像もされない時代である。FAX回線をトロトロと伝ってくるネットで知った“Yahoo”は、会員登録もなく、気の向くままに検索させてくれて、使用料を要求しない。そんな慈善事業で儲かるのかと思いきや、検索語の利用や目に入るバナー広告で世界有数の企業となった。見事な魔球だった。この球種もいまやありきたりになったが、当時の私には見えなかった。だから有数の企業となったのだろう。

「面白い魔球が潜んでね。しょうもない、ゆるーい棒球はあかねで」と祈りつつ、売り上げでは計り知れない赤ポスト商店に興味を覚えた。

ひと月後、同じところを通ったところ、赤ポスト商店は健在だった。添えられた案内文に、「もし何か質問があれば下のQRコードを使って連絡ください」とある。QRコードで連絡がくることを期待しているのが本命で、飲み物が撒き餌のように思える。それに少々キケンな感もするが、キケンを冒すことは、縁の始まりかもしれない。「男子厨房に入らずんば美味を得ず」(著者作)というざれ言が浮かんだが---

赤ポスト商店のなぞなんて、QRコードで容易に解ける、単なる遊びにしか過ぎない(だろう)が、見えぬ魔球のボールを剥ぐよりも、たまには、こんなんか、あんなかと想像の海を漂泊するのも面白い。

京薬生はどんな本を読んでいる？ -2020年度 年間貸出ランキング-

図 書 館

新型コロナウイルスの感染拡大により、開館時間の短縮や臨時休館を余儀なくされた2020年度。図書館に足を運ぶ機会が少ない1年となりましたが、そのような状況のなか、どんな本が読まれたのでしょうか？こんな本も図書館にあるんだ！と新たな発見につながることを期待しつつ、過去1年間に貸出された図書のうち、貸出回数の多かったものをランキング形式でご紹介します。

第1位は1,000点のイラスト・図表がビジュアル化された人気テキスト「薬がみえる Vol.1」でした。また、第2位、第3位には薬剤師を主役にしたコミック「アンサンングシンデレラ」がランクインしました。学習に必要な専門書や問題集だけでなく、通学の合間に読める小説も人気でした。

サービスの一部が制限されている状況は今なお続いています。従来通り、図書の貸出は行っております。感染予防対策にご協力いただいたうえで、ランキングを参考にぜひ図書館をご利用ください。

順位	資料名	著者名
1	薬がみえる Vol.1 :神経系の疾患と薬/循環器系の疾患と薬/腎・泌尿器系の疾患と薬	医療情報科学研究所編
2	アンサンングシンデレラ：病院薬剤師葵みどり 2	荒井ママレ著/富野浩充医療原案
	流浪の月	凧良ゆう著
3	アンサンングシンデレラ：病院薬剤師葵みどり 3	荒井ママレ著/富野浩充医療原案
	Let's CBT! start book 問題集 2	
4	アンサンングシンデレラ：病院薬剤師葵みどり 1	荒井ママレ著/富野浩充医療原案
	世界はもっと!ほしいモノにあふれてる：バイヤーが教える極上の旅	NHK「世界はほしいモノにあふれてる」制作班監修・協力
	ソロモン新有機化学・スタディガイド	T. W. Graham Solomons [ほか著]
	Let's CBT! start book 参考書 1	
	ライオンのおやつ	小川糸著
	薬理 改訂第8版 (領域別既出問題集：6年制課程薬剤師国家試験対応:5)	薬学ゼミナル編
5	Let's CBT! start book 問題集 1	
	逆ソクラテス	伊坂幸太郎著
	理系のためのレポート・論文完全ナビ 新版	見延庄士郎著
	公式TOEIC listening & reading問題集 5	Educational Testing Service著

本学図書館の開館日程についてはホームページをご覧ください。

<https://www.kyoto-phu.ac.jp/library/>



薬化学分野 准教授 小林 祐輔

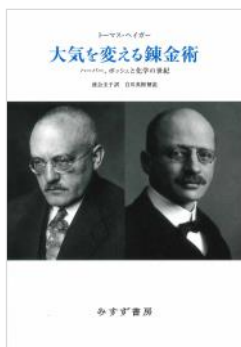
トーマス・ヘイガー 渡会圭子訳

『大気を変える錬金術：ハーバー、
ボッシュと化学の世紀』

みすず書房（2010年）

高校生で習ったハーバー・ボッシュ法。その開発の舞台裏と開発者たちの生きざまを描いた物語です。また、開発後の様々な影響や功罪にも言及されており、科学技術の進歩について考えさせられる一冊です。

ハーバー・ボッシュ法は高校の化学の授業で窒素と水素からアンモニアを合成する化学反応として習っていると思います。ヒトも含め動物のタンパク質合成にアンモニアなどの固定窒素が必要であることを知っている人は多いと思いますが、世界の食糧問題解決にハーバー・ボッシュ法がどれだけ貢献したのかについては知らない人が多いのではないのでしょうか。そ



れぞれ生い立ちの異なるハーバーとボッシュが窒素固定という目的を達成するために触媒や高圧に耐える装置を設計・改良していく過程が詳細に記述されており、実験科学に携わるものとして大変興味深い内容となっています。第一次世界大戦や第二次世界大戦を経て、ハーバーとボッシュは異なる道を歩みますが、彼らの科学者としてのプライドが政治・権力や金銭・欲望と対峙したときの生臭い科学の世界が描かれており、当時の彼らの心中を少なからず察することができます。また、本書ではハーバー・ボッシュ法の開発によって地球の窒素サイクルが変容し、現在までにどういう影響がでているかについても言及されています。有名なところだと、窒素酸化物の大量排出による大気汚染、酸性雨による土壌や河川の汚染が挙げられます。それ以上に衝撃的だったのが、現代人の生活習慣病との関わりです。現在、医薬品として売られている高脂血症薬、降圧薬、糖尿病治療薬などの多くは肥満と関係しています。元をたどってみると、現代人の肥満の多くは十二分な食糧供給を可能にしたハーバー・ボッシュ法に起因しています。

最近、常温・常圧下で窒素ガスと水からアンモニアを触媒的に合成する反応がNature誌に報告され、再び窒素固定反応が注目されています。窒素固定についてもっと知りたいと思った方はぜひ本書や最新の論文を読んでみてください。買うのはちょっと・・・という方はお貸ししますのご連絡を。

News 2021年度試験日程について

教務課

2021年度の試験日程については最新情報をmanabaでご確認ください。シラバスをよく読み、各学年とも進級・卒業要件を確認して受験してください。

再試験の受験手続はWebで行います。必ず指定の期間に手続を行ってください。

「人と文化」選択科目の不合格科目については、再試験手続をしなかった場合、放棄とみなします。放棄科目については、履修した年度内は平均点に算入されます

が、翌年度以降は平均点の算出対象外となります。

Webシラバス内にある「学修の手引き」にも、試験制度の詳細や受験にあたっての心得が掲載されていますので、よく読んでください。

学修の手引き



2021年度新入生向けクラブ・サークル紹介

Event

学生課

2021年4月3日（土）に、新入生に向けたクラブ・サークル紹介をCOVID-19感染防止対策を取って創立130周年記念館で実施しました。

体育会系クラブ・文化系クラブ・同好会（サークル）・学生自治会・京葉祭実行委員会の40近くの団体が参加し、新入生は興味のある団体のブースを見学し、上級生から熱心に勧誘を受けていました。

参加した学生からは、「団体を一度に見てまわることができ、たくさんの団体の話を聞くことができた」「活動の見学に参加してみようと思う」など、これからの課外活動への参加を心待ちにしているようでした。

また、1年次生のmanabaにて課外活動団体の紹介スライド、SNSアカウント一覧を掲載しています。



当日の会場の様子

KPU_{NEWS}では、学生・職員の趣味や活動などを新コーナー「十人十色」と題して幅広く紹介しています。
学生・職員の皆様からの寄稿をお待ちしております！

京薬周辺でバードウォッチング！

代謝分析学分野 4年次生 市川 菜々子

バードウォッチング（以下、鳥見）と聞くと、敷居が高く感じるかもしれません。しかし、実は身近な環境でも、気軽に楽しめるものなのです。今回は大学付近の鳥見スポットである、天智天皇陵と琵琶湖疏水を紹介しつつ、鳥見について簡単に紹介したいと思います。



周辺マップ

天智天皇陵は地下鉄御陵駅と大学の中に位置し、三条通沿いに入り口があります。この場所は多くの鳥が生息しており、樹上のエナガや地面で餌を探すシロハラなどを観察できます。そして、運が良ければ「ホーホケキョ」という美しいさえずりが有名なウグイスも見られるかもしれません。特に私の一押しは、「エナガ」という鳥です。小さくフワフワな体と尾羽が長いのが特徴で、集団ですばしっこく動く姿が非常にかわいらしいです。



エナガ（スズメ目エナガ科）

琵琶湖疏水（山科疎水）は、大学北側の山沿いを流れる水路であり、天皇陵の東側から入ることができます。水路ではダイサギなどの水辺の鳥を、水路沿いの樹木ではルリビタキなどの山の鳥を観察できます。木の実を食べている姿や川で水浴びをしている姿も観察することができます。



ルリビタキ（スズメ目ヒタキ科）

野外で観察できる鳥たちは、季節によって大きく変化します。

①一年中見られる鳥（留鳥）

ヒヨドリ・メジロ・シジュウカラ・エナガなど

②冬に見られる鳥（冬鳥）

ルリビタキ・シロハラ・ツグミ・マヒワなど

③夏に見られる鳥（夏鳥）

（山では）キビタキ・オオルリなど

④春・秋に見られる鳥（旅鳥）

（平地では）キビタキ・オオルリなど

このように、鳥見を通して四季の移り変わりを感じられるのも魅力の一つです。

鳥見に必要なものは、**双眼鏡**と**野鳥図鑑**だけです。双眼鏡は家にあるものや廉価品、野鳥図鑑も図書館で借りたもので問題ありません。また、カメラはなくてもよいので、ほとんどお金を掛けずに楽しむことができます。

鳥の探し方のコツは、鳥の鳴き声に集中することです。聴こえる方を肉眼でじっと見て、姿を確認し、そのまま頭を動かさずに双眼鏡を目に押し当てるように覗いて見てください。そして、どのような種類の鳥なのか、是非図鑑でも調べてみてください。

最後になりますが、コロナ禍で自由に遊ぶことが難しくなったこの機会に、自然の中で鳥の声に耳を傾けてみてはいかがでしょうか？少し意識を向けるだけでも、きっと多くの鳥たちに出会えるはずです。そして、その鳥たちが、窮屈な生活に彩りを与えてくれることでしょう。私も飼っているインコがきっかけで野外の鳥にも目を向けるようになりましたが、今ではすっかり野鳥の虜になってしまいました。この記事が、皆さんの鳥見ライフのきっかけになれば嬉しく思います。

本学では医薬品開発業務を題材に実践的な英会話能力を身につけるためのプログラム、Clinical Research Management Program (CRMP) を開講しています。このプログラムは、CRO^{*1}のパレクセル・インターナショナル株式会社と本学が共同で実施しているもので、海外から講師を招き、すべて英語でおこなう対話中心の5週間のプログラムです。

今年度については、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により、通常のプログラムは中止となりましたが、オンラインを活用した5日間（5月10日～14日）の代替プログラム、English Training for Clinical Trialsを実施しました。リモート形式ではあるものの、講師と参加学生11名が英語で活発に議論しながら、医薬品開発業務を学びました。

来年度の実施形式は未定ですが、興味のある学生はぜひ参加を検討してください。

^{*1}: Contract Research Organization (医薬品開発業務受託機関)



ディスカッションの様子

■生薬学分野 5年次生 中西 友里

私がこのプログラムに参加する以前は、CROについて、授業で学んだ程度の知識しかありませんでした。しかし、CROで働く方から直接、その役割を英語で学べる貴重な機会だと思い参加を決めました。

クラス内では、グループに分かれ、課題に対して英語でディスカッションする機会が多くありました。その中で、私は自分の考えを英語でうまく伝えることができず歯がゆい思いをすることがありました。しかし、一緒に学んでいるメンバーも、講師を務めてくださったパレクセルの方も、お互いに理解しあおうとしてくださるような温かい雰囲気だったので、挑戦し続けることができました。

そして、私がこのプログラムの中で最も大切だと感じた点は積極性です。先生と会話しながら進められる、双方向型の講義だったので、私たちから積極的に発言していくことで英会話力が上がり講義内容の理解も深まっていったように感じました。

このプログラムを通してCROや治験についてとても詳しく学ぶことができるので、CROに興味がある方はもちろん、CROについてあまり知らない方も、英語力にあまり自信のないかたも、ぜひ積極的に参加されることをおすすめします。このプログラムから得られる学びは、人それぞれにたくさんあると思います。

■薬物治療学分野 5年次生 元川 典子

“Don't be afraid to TRY!”

プログラム初日に、先生から頂いた言葉です。この言葉に勇気づけられ、たくさんチャレンジできた、密度の濃い5日間でした。

世界で指折りのCROであるパレクセル社の方々から、英語で臨床試験について学べるプログラム。医薬品開発にも英語にも興味があった私は、低学年次の時から、絶対に参加したいと思っていました。念願叶って迎えた初日。楽しみ半分、緊張半分でPCを開きました。講義やディスカッションはもちろん全て英語。専門用語も多く、自信がなくて発言するのを一瞬ためらってしまいました。そんな時に先生が掛けてくださったのが、冒頭の言葉でした。この言葉に、間違ってもいい、チャレンジすることこそ大事なのだと気づかされました。

「毎日必ず発言し、自分の考えを伝える」

そこから、これを自分のチャレンジとして据え、達成に向けて5日間欠かさず予習と復習に取り組みました。苦戦することもありましたが、なんとか成し遂げた最終日にはこの上ない達成感を味わうことができました。

このプログラムを通して、医薬品開発における臨床試験・CROの重要性について学びが色濃くなったことはもちろん、英語を話す楽しさ、そして何より、果敢にチャレンジしていく楽しさに気づけたことが大きな収穫です。今回学んだことを糧に、医薬品業界で活躍できる人材となれるよう、より一層励んでいきたいと思っています。

このような機会をくださった、パレクセル社および京都薬科大学の皆様に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

■ COVID-19をめぐる「スティグマ」を考える

COVID-19禍において、感染拡大の波が何度も押し寄せる様子を目の当たりにすると、感染をコントロールすることの難しさを感じざるを得ません。万全な予防策を講じていても感染することがあるわけですから、感染は決して他人事ではなく、自分や自分の身近な人達が感染することは十分に考えられます。そういった意味でも、万が一、自分が、あるいは身近な人が感染者となった場合、その事態を受け止めるだけのこころの準備をしておく必要もあるでしょう。

COVID-19禍においては、感染そのものに対する不安だけではなく、「もし感染者になった場合に周囲にどう思われるだろう」という不安を持つ人も少なくないと思われます。そこには、昔から根深く存在している感染症に対するスティグマの問題が関係しているでしょう。スティグマとは、社会的に作られた否定的な意味を他者から付与されることを指す社会心理学用語であり、客観的属性（この場合COVID-19の感染者であること等）がスティグマの対象となります。人は、わからない要素がたくさんある見えないものを強く恐れます。その脅威や不安から自分を守るための自己防衛反応の一つとして、脅威を他の「誰か」に関連させ排除しようとする心理が働くことがあります。それが差別や偏見の対象となるスティグマを作ってしまうのです。

今回のCOVID-19禍では、すでにそのスティグマの問題は様々な形で現れています。例えば、感染者に対する言われなき批判、学校における感染児童へのいじめ等、各種報道で目にする機会もあるでしょう。これらには、感染した当事者が、罹患そのものの苦しみに加えて「社会的制裁を受けないか、周囲に知られてしまったら不利益を受けないか」という不安で更なる苦しみを感じなければいけない側面があるといえます。

WHOの「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する社会的スティグマの防止と対応のガイド」によると、「スティグマは、疾患を隠すよう人々を駆り立て、援助希求や健康的な行動をとることをやめさせる」と指摘します。人々が、罹患あるいは罹患の可能

性を隠してしまうと更なる感染拡大にもつながる恐れがあり、それはなんとしても阻止せねばなりません。そのためにも感染者が不当な社会的扱いを受けることがない環境作りが大切です。

まず、ひとりひとりが自分に対し、「COVID-19感染に対する偏見はないか、COVID-19禍の様々な問題に対して冷静に向き合っているか」ということや、「もし、周囲の人が感染者になったとき、ネガティブな思いを持つことなく、今まで通りに接することができるのか」ということを改めて問いかけてみる必要があると思います。もし、自分の中にそういった思いがある場合には、それはそれとして認めた上で、信頼関係やつながりを壊すことがないように、自らの言動をコントロールすべく意識的に振る舞う必要があるでしょう。また、当事者が「自責の念や社会生活復帰への不安」といった気持ちを抱えているかもしれないことを想像し、元通りの生活に早期に適応できるよう周囲が配慮することも大切です。

社会が不安や恐怖心に覆われている今だからこそ、あふれかえる情報を公正かつ冷静な目で見極め、人と人との分断を助長させるような言説からは距離をおき落ち着いて行動する必要があるでしょう。

長期化するCOVID-19禍において、「感染しない、させない」ための生活を維持する努力に疲弊してきている人も少なくないと思います。ストレス過多や過度な疲労感が重なっていくと、理性的思考が難しくなり、不安や恐怖といった不快な感情に振り回されやすくなってしまいます。そうならないためにも、疲れ切ってしまう前に、早め早めにストレスへの対処をしていくことが大切です。誰かに相談することもその一つの方法です。学生相談室では、どのようなご相談もお受けしています。COVID-19に関連する不安等はもちろん、そのほか、学生生活を送る上での困りごと、悩み事、なんでも大丈夫です。ぜひお気軽にお問合せください。

（臨床心理士 上野 みな子）

■ 学生相談室のご案内

学生生活の中で問題や悩みに出くわしたとき、独りで抱え込むのではなく気軽に相談室をご利用ください。相談は臨床心理士が担当し、学業、進路、課外活動、将来、対人関係、性格、家族、心身の健康についてなど、事の大小に関わらず学生生活に関わる様々な悩みや問題について幅広い相談をお受けしています。学生ご本人だけでなく、保護者や教職員の方からの相談も可能です。

● 相談申込み・問合せ先

学生相談室 育心館4階

相談を希望される方は電話もしくはメールにて予約をお願いいたします。相談は無料です。なお、COVID-19感染拡大防止の観点から、対面相談のほかに、オンライン相談（電話またはTeamsの音声通話）も実施しております。相談方法につきましてはカウンセラーにご相談下さい。その他詳細はお問合せ下さい。

- ・ 開室（受付）時間：月～金 8:45～17:15
- ・ 電話：（075）595-4672（建部） / （075）595-4686（上野）
- ・ メール：gakusou@mb.kyoto-phu.ac.jp

■2021年度生涯研修プログラム「漢方講座」および「eラーニング講座」申込受付中です。

◇「漢方講座」漢方治療の臨床力を身につけよう

※今後のCOVID-19感染拡大状況により中止する場合がありますので、生涯教育センターホームページを必ずご確認ください。

京都漢方研究会との共催で、漢方治療の基礎から臨床まで4回コースで学びます。入門講座を1限目に開講し、漢方の知識や経験のない方にも受講しやすいプログラムです。

新型コロナ感染予防対策を講じながら開催します。定員制限、座席指定にご協力をお願いします。

※日程：2021年8月22日(日)、9月5日(日)、10月17日(日)、11月14日(日)10:00～16:00

※場所：京都薬科大学躬行館3階 T31講義室

※定員：75名 ※受講料：20,000円 ※認定単位：G24 計12単位(1単位/演題)

※申込受付期間：2021年6月23日(水)～8月2日(月)

※申込方法：生涯教育センターホームページ (<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>) よりお申込みください。

開催日	10:00-11:40【基礎】	12:30-14:10【薬物】	14:20-16:00【臨床】
2021年 8月22日 (日)	頭痛の漢方治療 末広薬局 京都漢方研究会 理事 高橋 宏和 先生	生薬の選品と鑑別(2) 株式会社栃本天海堂 医専部 課長 宮嶋 雅也 先生	漢方薬局での店頭経験～炎症性疾患～ テツムラ漢方薬局 代表取締役 鉄村 努先生
2021年 9月5日 (日)	四肢の痛みの漢方治療 末広薬局 京都漢方研究会 理事 高橋 宏和 先生	知っておきたい漢方配合生薬(その1) 京都漢方研究会 理事長 京都薬科大学 名誉教授 松田 久司 先生	眼科領域における漢方治療 山本眼科～東洋医学研究所～ 院長 山本 昇伯 先生
2021年 10月17日 (日)	風邪の漢方治療 末広薬局 京都漢方研究会 理事 高橋 宏和 先生	【薬局・薬剤師の為の分かり易い漢方】 『山本巖流一貫堂漢方医学』～3つの体質～ ファルメディコ株式会社 代表取締役会長 一般社団法人日本在宅薬学会 理事 一般社団法人日本在宅薬学会 漢方研究会 会長 狭間 紀代 先生	素晴らしい漢方！ 古から学び、そして薬能も考える漢方 広島国際大学薬学部 生薬漢方診療学 教授 広島大学病院漢方診療外来 責任指導医 中島 正光 先生
2021年 11月14日 (日)	咳・痰の漢方治療 末広薬局 京都漢方研究会 理事 高橋 宏和 先生	漢方製剤を併用する考え方： アトピー性皮膚炎治療を例にして 大阪大谷大学 名誉教授 谿 忠人 先生	漢方の森の中で迷わないために・・・ これだけは押さえておきたい疾患の漢方治療 吉田内科クリニック 院長 吉田 光範 先生

◇「eラーニング講座」※本学職員・学生視聴無料

2021年度卒後教育講座および2021年度漢方講座を開催時に収録し、順次コンテンツに追加します。

既年度コンテンツは、6月より配信しています。

※配信期間：2021年6月1日(火)～2022年2月28日(月)

※受講料：15,000円 ※認定単位：G24 計47単位(1単位/演題)

※申込受付期間：2021年4月1日(木)～2022年2月28日(月)

※申込方法：生涯教育センターホームページ (<https://skc.kyoto-phu.ac.jp/>) よりお申込みください。

本学職員・学生はメールにてご連絡ください。(Email: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp)

■問合せ先

京都薬科大学 事務局 実務・生涯教育課

※E-mail: s-center@mb.kyoto-phu.ac.jp

※TEL: 075-595-4677 (平日10:00～16:00)

※FAX: 075-595-4792



生涯教育センター
トップページ



2021漢方講座
申込ページ



2021 eラーニング
申込ページ

1. 入学定員・募集人員

学部	学科	入学定員
薬学部	薬学科	360名

※最新の情報は本学Webサイトよりご確認をお願いします。

https://www.kyoto-phu.ac.jp/exam_information/



2. 募集人員・出願資格

	学校推薦型選抜		一般選抜		
	指定校制	一般公募制	一般A方式 (共通テスト前期)	一般B方式 (本学独自)	一般C方式 (共通テスト後期)
募集人員	50名	80名	45名	180名	5名
出願資格	高等学校長へ通知	2022年3月卒業見込者及び 2021年3月卒業者 ^{※1} で、 学習成績の状況3.2以上。	2022年3月卒業見込者及び既卒者		

※1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を2021年3月に修了した者、及び2021年4月以降2022年3月末までに修了または修了見込の者を含む。

3. 選抜日程等

	学校推薦型選抜		一般選抜		
	指定校制	一般公募制	一般A方式 (共通テスト前期)	一般B方式 (本学独自)	一般C方式 (共通テスト後期)
出願期間	2021年11月1日(月) ～2021年11月9日(火) 必着	2021年11月1日(月) ～2021年11月9日(火) 当日消印有効	2022年1月6日(木) ～2022年1月14日(金) 当日消印有効	2022年1月6日(木) ～2022年1月21日(金) 当日消印有効	2022年2月22日(火) ～2022年3月8日(火) 当日消印有効
試験日	2021年11月15日(月)	2021年11月20日(土)	2022年1月15日(土) 2022年1月16日(日)	2022年2月3日(木)	2022年1月15日(土) 2022年1月16日(日)
合格発表日	2021年12月1日(水)		2022年2月16日(水)		2022年3月14日(月)
入学手続 期限	2021年12月10日(金) 必着 入学金・授業料(前期分)納付期限 入学手続書類等提出期限		2022年2月22日(火) 入学金納付期限		2022年3月22日(火) 入学金納付期限
			2022年3月22日(火) 必着 授業料(前期分)納付期限 入学手続書類等提出期限		

4. 検査・試験項目等

学校推薦型選抜 (指定校制)
面接・調査書を基に総合的に判定する。
試験場：京都薬科大学キャンパス

一般選抜A方式 (共通テスト前期)		配点
数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	200
外国語	英語	200 ^{※2}
国語	国語 [近代以降の文章のみ]	100
理科	化学 [必須], 物理・生物から1科目 [選択]	200
試験場：大学入試センターが指定 (個別試験はなし)		

※2 リーディングとリスニングの合計点を200点満点に換算し素点とする。
(リーディング160点満点、リスニング40点満点)

学校推薦型選抜 (一般公募制)	配点
適性検査Ⅰ：英語 [コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ]	100
適性検査Ⅱ：化学 [化学基礎, 化学]	100
面接	40
調査書 (国語と数学の学習成績の状況の合計×2)	20
ただし、一定基準に達しない検査項目があれば、不合格になることがある。	
試験場：京都薬科大学キャンパス	

一般選抜B方式		配点
数学	数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B [数列, ベクトル]	200
外国語	英語 [コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ, 英語表現Ⅱ]	200
理科	化学基礎, 化学	200
試験場：京都薬科大学キャンパス, あべのハルカス		

一般選抜C方式 (共通テスト後期)		配点
理科	化学	100
数学	数学Ⅰ・数学A, 数学Ⅱ・数学B	100 ^{※3}
調査書		15 ^{※4}
志望理由書		15
試験場：大学入試センターが指定 (個別試験はなし)		

※3 200点満点を100点満点に換算し素点とする。

※4 学習成績の状況×3 (小数点以下第1位を四捨五入) を素点とする。

問合せ先：京都薬科大学 入試課 TEL 075-595-4678 / FAX 075-583-2232 /HP <https://www.kyoto-phu.ac.jp>

	薬学専攻 博士課程(4年制)	薬科学専攻 博士後期課程(3年制)	備 考
募集人員	(一般入試、社会人入試) 10名	(一般入試、社会人入試) 2名	
募集分野等	(募集分野等、協力分野等) 24分野等	(募集分野等、協力分野等) 14分野等	協力分野においても研究指導を受ける事ができる
出願資格	(1)大学(6年制薬学部)を卒業した者(2022年3月末日までに卒業見込者を含む) (2)外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は薬学)を修了した者(2022年3月末日までに修了見込者を含む) (3)大学(4年制薬学部)を卒業後、社会人として大学、官公庁、企業又は病院等において2年以上の実務経験を有し、かつ、薬剤師免許を有している者で、本学大学院における入学資格審査において、第1号の者と同等以上の学力があると認めた者 (4)本学大学院において、個別の入学資格審査により、第1号の者と同等以上の学力があると認めた者	(1)薬学系(薬学、臨床薬学又は薬科学)又は理科系の修士の学位を有する者(2022年3月末日までに当該学位取得見込者を含む) (2)外国において前号と同等の修士の学位に相当する学位を有する者(2022年3月末日までに当該学位取得見込者を含む) (3)大学卒業後、出願時に社会人として大学、官公庁、企業又は病院等において2年以上研究に従事した者で、当該研究の成果等により、本学大学院における入学資格審査において、第1号と同等の修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 (4)本学大学院において、個別の入学資格審査により、第1号と同等の修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者	<薬学専攻> 募集分野等 薬品製造学分野、薬品分析学分野 代謝分析学分野、衛生化学分野 微生物・感染制御学分野、細胞生物学分野 生化学分野、病態生理学分野 病態生化学分野、薬物治療学分野 臨床薬理学分野、薬理学分野 臨床腫瘍学分野、薬剤学分野 薬物動態学分野、臨床薬学分野 臨床薬剤疫学分野、統合薬科学系 臨床薬学教育研究センター (協力分野等) 薬化学分野、薬品化学分野 生薬学分野、薬品物理化学分野 放射性同位元素研究センター <薬科学専攻> 募集分野等 薬化学分野、薬品化学分野 生薬学分野、薬品物理化学分野 放射性同位元素研究センター (協力分野等) 薬品製造学分野、薬品分析学分野 代謝分析学分野、細胞生物学分野 生化学分野、病態生理学分野 薬理学分野、薬剤学分野、統合薬科学系
主な出願書類	(1)入学願書 (2)成績証明書 ^{*1} (3)卒業論文及び卒業論文の要旨(英文可) ^{*2} (4)志願者名票・受験票 (5)出願資格(3)の者は薬剤師免許の写し (6)卒業・修了(見込)証明書 ^{*1} (7)出願資格(2)の者は住民票 ^{*3}	(1)入学願書 (2)成績証明書 ^{*1} (3)修士論文及び修士論文の要旨(英文可) ^{*2} (4)志願者名票・受験票 (5)研究業績録 (6)修了(見込)証明書 ^{*1} (7)出願資格(2)の者は住民票 ^{*3}	※1 本学卒業・修了(見込)者を除く ※2 卒業・修了見込者は卒業研究の概要(2,000字以内)1部(英文可) ※3 学術交流協定大学の卒業(見込)者は大学長等の正式な推薦状で代用可能(任意)。その場合は、入学手続き時に住民票の提出を求める。
関係日程	出願期間	(夏季募集) 2021年7月 2日(金) ～ 2021年7月16日(金) [必着] (冬季募集) 2022年1月 6日(木) ～ 2022年1月13日(木) [必着]	
	試験日	(夏季募集) 2021年8月20日(金) (冬季募集) 2022年1月25日(火)	
	合格発表日	(夏季募集) 2021年8月26日(木) (冬季募集) 2022年1月25日(火)	
	入学手続期限	2022年3月11日(金) 入学金納付期限 授業料前期分納付期限, 入学手続書類提出期限	
選考	面接試験	専攻に必要な研究能力について、卒業論文またはそれに相当する研究業績のプレゼンテーションを中心に行う。 専攻に必要な研究能力について、修士論文またはそれに相当する研究業績のプレゼンテーションを中心に行う。	

★出願に関する問い合わせ先

事務局入試課 〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5 TEL075-595-4678

※最新の情報は右記QRコード(本学ホームページ)よりご確認をお願いします。

https://www.kyoto-phu.ac.jp/exam_information/



2021年4月

		一 般 入 試	社 会 人 入 試	備 考
募集人員		5 名		(募集分野等)
		若干名	若干名	薬化学分野、薬品製造学分野
募集分野等		薬科学専攻 16分野等	薬科学専攻 16分野等	薬品化学分野、生薬学分野 薬品分析学分野、代謝分析学分野 薬品物理化学分野、公衆衛生学分野 細胞生物学分野、生化学分野 病態生理学分野、薬理学分野 薬剤学分野、統合薬科学系 放射性同位元素研究センター 共同利用機器センター
出願資格		(1) 大学を卒業した者(2022年3月末日までに卒業見込者を含む) (2) 2022年3月末日において大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められる者 (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者(2022年3月末日までに修了見込者を含む) (4) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者	大学卒業後、出願時に社会人として大学、官公庁、企業又は病院等において1年以上の実務経験を有する者	
主な出願書類		(1) 入学願書 (2) 成績証明書 ^{※1} (3) 志願理由書 (4) 志願者名票・受験票 (5) 出願資格(3)の者は住民票 ^{※2} (6) 卒業(見込)証明書 ^{※1}	(1) 入学願書 (2) 成績証明書 ^{※1} (3) 志願理由書 (4) 志願者名票・受験票 (5) 実務実績書 (6) 卒業証明書 ^{※1}	※1 本学卒業・修了(見込)者を除く ※2 学術交流協定大学の卒業(見込)者は大学長等の正式な推薦状で代用可能(任意)。その場合は、入学手続き時に住民票の提出を求める。
関 係 日 程	出願期間	(夏季募集) 2021年7月2日(金) ~ 2021年7月16日(金) [必着] (冬季募集) 2022年1月14日(金) ~ 2022年1月21日(金) [必着]		
	試験日	(夏季募集) 2021年8月20日(金) (冬季募集) 2022年2月10日(木)		
	合格発表日	(夏季募集) 2021年8月26日(木) (冬季募集) 2022年2月16日(水)		
	入学手続期限	2022年3月11日(金)入学金納付期限 授業料前期分納付期限, 入学手続書類提出期限		
試 験 科 目	外国語(英語)	4問題から2問題を選択解答 40点(20点×2)	—————	
	薬学専門	I ~ VII系*の16問題から2問題を選択解答 40点(20点×2問題)		* I 系 創薬科学系 薬化学分野、薬品製造学分野 薬品化学分野、生薬学分野 II 系 分析薬科学系 薬品分析学分野、代謝分析学分野 薬品物理化学分野 III 系 生命薬科学系 公衆衛生学分野、細胞生物学分野 生化学分野、病態生理学分野 IV 系 病態薬科学系 薬理学分野 V 系 医療薬科学系 薬剤学分野 VI 系 統合薬科学系 VII 系 附属施設 放射性同位元素研究センター 共同利用機器センター
	小論文他	—————	小論文(一般)小論文(専門)の2課題 成績証明書	
	面接試問	志願理由書を参考に試問	志願理由書・実務実績書を参考に試問	【学識、説明能力、自覚・意欲】

★出願に関する問い合わせ先

事務局入試課 〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5 TEL075-595-4678

※最新の情報は右記QRコード(本学ホームページ)よりご確認をお願いします。

https://www.kyoto-phu.ac.jp/exam_information/



本学研究者の研究資金には、大学から配当される研究費のほか、国などから助成される公的研究費（私学助成金を含む。）、公益財団法人や企業からの研究助成寄付金、共同研究・受託研究契約に基づく企業からの研究費などがあります。

公的研究費は、文部科学省をはじめ厚生労働省、日本医療研究開発機構（AMED）などから助成されていますが、その中でも大きな割合を占めるのが、文部科学省所管の「科学研究費助成事業」（略して「科研費」）です。科研費の募集枠は金額によって分類されていて、個人で申請するものや複数の研究者で申請するものがあり

ます。また、1人の研究者があまり多くの枠に申請できないように制限も設けられています。

下表には代表者のみ記載していて、分担者として共同研究をしている場合は含まれていません。令和3年度は、新規で45件申請して19件が採択されました（新規採択率42.2%）。合計採択件数は52件（うち3件は延長で本年度の交付金はなし）、令和3年度交付予定総額は91,390千円となっています。

なお、特別研究員奨励費は下表には記載していません。挑戦的研究（萌芽）は現在申請中です。

研究種目	研究代表者	分野名	課題番号	課題名	交付額 (千円)	新規・ 継続
新学術領域	石原 慶一	病態生化学分野	20H05521A02	ダウン症脳での銅蓄積の責任遺伝子同定と知的障害における役割の解明	2,860,000	新規
基盤研究(B)	古田 巧	薬化学分野	21H02611	カルコゲン結合で構造制御する分子認識型触媒の創製	9,230,000	新規
基盤研究(B)	高田 和幸	統合薬科学系	20H03569	脳内免疫環境変化の解析によるアルツハイマー病の病態解明と治療への応用	4,810,000	継続
基盤研究(B)	松本 崇宏	公衆衛生学分野	20H03397	がん化学療法抵抗性改善機能に基づく天然由来新規医薬品シーズの開拓	4,290,000	継続
基盤研究(B)	勝見 英正	薬剤学分野	19H04473	骨転移の診断・治療の効率化を目指したセラノスティクス型骨標的化ナノ薬物担体の開発	4,160,000	継続
基盤研究(B)	大石 真也	薬品化学分野	18H02555	生体分子の鏡映変換による医薬品探索技術の開発と応用	3,770,000	継続
基盤研究(C)	服部 恭尚	共同利用機器センター	21H05417	SARS 3CL プロテアーゼ阻害剤の高活性化と抗COVID-19薬への展開	1,690,000	新規
基盤研究(C)	佐藤 毅	一般教育分野	21H06038	Notch受容体機能の膜組成への依存性の解析とシグナリング機構の解明	2,470,000	新規
基盤研究(C)	浜田 翔平	薬化学分野	21K06487	ニトロキシル型触媒によるC-H酸化反応の開発	2,210,000	新規
基盤研究(C)	河嶋 秀和	放射性同位元素研究センター	21K06502	がん化学療法施行時の悪心・嘔吐リスク予測システムの構築と戦略的制吐療法の確立	1,430,000	新規
基盤研究(C)	武上 茂彦	薬品分析学分野	21K06523	多粒子結合イオン液体ナノ粒子を用いた超高感度電気化学発光イムノアッセイ法の開発	1,300,000	新規
基盤研究(C)	鳥羽 裕恵	臨床薬理学分野	21K06606	貧血治療薬エリスロポエチンの動脈硬化抑制薬としてのドラッグ・リポジショニング研究	1,170,000	新規
基盤研究(C)	伊藤 由佳子	薬物動態学分野	21K06679	リキッドバイオプリンシーを活用する肺癌化学療法マネジメント実用化への展開	1,950,000	新規
基盤研究(C)	河淵 真治	薬物動態学分野	21K06720	がん化学療法施行時の悪心・嘔吐リスク予測システムの構築と戦略的制吐療法の確立	1,560,000	新規
基盤研究(C)	辻本 雅之	臨床薬学分野	21K06721	金属カチオン製剤によるロスバスタチン濃度低下メカニズムの解明と関連医薬品への応用	1,430,000	新規
基盤研究(C)	小原 幸	臨床薬理学分野	21K08141	細胞がミトコンドリア放出を伝達ツールとした心不全病態悪化の検討及び治療への応用	1,430,000	新規
基盤研究(C)	村木 優一	臨床薬剤疫学分野	21K10290	基礎や臨床研究で得られた臨床上で有用性はリアルワールドデータで検証できるのか	2,600,000	新規
基盤研究(C)	渡辺 徹志	公衆衛生学分野	21K12271	大気粉塵の炎症反応誘発性と喘息発作の関係の解明	1,430,000	新規
基盤研究(C)	小林 数也	薬品化学分野	20K06953	ヒドロキシプロリンを基盤とする汎用的プロテアーゼ阻害剤設計戦略の開発	1,430,000	継続
基盤研究(C)	高山 健太郎	衛生化学分野	20K06974	1型ニューロメジンU受容体アンタゴニストの創出と2型炎症克服のための創薬基盤構築	1,430,000	継続
基盤研究(C)	田中 智之	薬理学分野	20K07040	マスト細胞の脱顆粒応答抑制に関わるGPR35の機能解析	1,430,000	継続
基盤研究(C)	安井 裕之	代謝分析学分野	20K07056	亜鉛要求酵素の活性変動を分子基盤とした炎症性腸疾患の病態解析と新規治療戦略の探索	1,690,000	継続
基盤研究(C)	秋葉 聡	病態生化学分野	20K07077	NASHの新規治療観点となる細胞種特異的IVA型PLA2の制御による肝線維化抑制	1,560,000	継続
基盤研究(C)	加藤 伸一	薬物治療学分野	20K07078	オーファンGタンパク質共役型受容体GPR35の炎症性腸疾患の病態における役割解明	1,430,000	継続
基盤研究(C)	中村 誠宏	生薬学分野	20K07109	アシクロビルリン酸化酵素制御に基づく薬用植物由来抗単純ヘルペスウイルス薬の開発	1,430,000	継続
基盤研究(C)	中田 徹男	臨床薬理学分野	20K07300	ストレス抑制物質が脳心腎連関に及ぼす機序の検討	1,170,000	継続
基盤研究(C)	中田 晋	臨床腫瘍学分野	20K07623	GGOTによる代謝変容が誘導する新規Hedgehog経路活性化機構の解明	1,300,000	継続
基盤研究(C)	木村 寛之	代謝分析学分野	20K08061	原発性アルドステロン症の核医学検査法の開発	1,430,000	継続
基盤研究(C)	坂本 尚志	一般教育分野	19K00048	『分析手帖』と『マルクス=レーニン主義手帖』—60年代フランスにおける学知と革命	910,000	継続
基盤研究(C)	小林 祐輔	薬化学分野	19K06974	医薬品の後期修飾を志向したアミドの選択的分子変換法の開発	1,300,000	継続
基盤研究(C)	中山 祐治	生化学分野	19K07055	受容体型チロシンキナーゼによる細胞分裂制御機構の解明	1,170,000	継続
基盤研究(C)	松本 健次郎	薬物治療学分野	19K07109	膵、脳に発現するTRPM8チャネルを標的とした過敏性腸症候群の治療	1,300,000	継続

基盤研究(C)	藤井 正徳	薬理学分野	19K07333	アトピー性皮膚炎マウスにおける痒み行動増悪の脳内メカニズムの解明	910,000	継続
基盤研究(C)	西村 周泰	統合薬科学系	19K07854	中脳神経回路網の機能再生を目指した新規治療戦略の確立	1,430,000	継続
基盤研究(C)	芦原 英司	病態生理学分野	19K08826	細胞指向性送達理論に基づくエクソソーム捕捉型核酸医薬による多発性骨髄腫治療の開発	1,690,000	継続
基盤研究(C)	松村 千佳子	臨床薬学教育研究センター	19K10546	早期から終末期における緩和ケアの質向上をめざした薬学的支援方法の確立	650,000	継続
基盤研究(C)	齊藤 洋平	生化学分野	18K06672	熱ストレスによるStat3活性化と癌悪性化の可能性	—	継続
基盤研究(C)	小島 直人	薬品製造学分野	16K08330	新規抗がん剤の創製を指向したアセトゲニン誘導体のTHF環部分の構造活性相関研究	—	継続
若手研究	扇田 隆司	薬品物理化学分野	21K15245	アミロイド凝集核を構成する異常型 α シヌクレインの構造特性の物理化学的解明	1,560,000	新規
若手研究	西藤 有希奈	代謝分析学分野	21K15262	亜鉛の吸収・動態制御に着目した加齢性疾患の予防法の確立	1,170,000	新規
若手研究	幸 龍三郎	生化学分野	21K15263	破綻したリン酸化シグナルを基盤としたがん細胞分裂によるがん進展機構の解明	1,430,000	新規
若手研究	安田 浩之	薬物治療学分野	21K15276	細胞外トラップの消化管炎症における役割解明	1,170,000	新規
若手研究	地骨 悠吾	臨床薬学教育研究センター	19K16428	数理モデルを用いたインフルエンザの流行と治療法の評価	390,000	継続
若手研究	戸田 侑紀	病態生理学分野	20K17388	骨髄腫幹細胞のexosome分泌型miRNAを介した低酸素生存適応	1,560,000	継続
若手研究	鴨志田 剛	微生物・感染制御学分野	20K17475	細菌-宿主相互作用により実験進化した細菌を用いた新視点からの感染症研究	1,560,000	新規
若手研究	棚橋 嵩一郎	健康科学分野	20K19656	習慣的な有酸素性運動が動脈硬化の進行を抑制する機序の解明：ADMAに着目して	1,170,000	継続
若手研究	森下 将輝	薬剤学分野	20K20205	ビフィズス菌の糖代謝機構を利用した機能性細胞外小胞の創製とがん免疫療法への応用	1,300,000	継続
若手研究	岸野 亮示	一般教育分野	18K12204	空海の遺志に立ち返る碩学たち：近世後期の「根本説一切有部律」研究	650,000	継続
若手研究	冢瀬 諒	臨床薬剤疫学分野	20K18865	大規模レセプトデータを用いた関節リウマチ治療に伴う悪性腫瘍リスクの明確化	650,000	継続
若手研究	朝比奈 裕子	一般教育分野	18K14337	光感受性ナノボア形成能をもつ人工BAXタンパク質の構築	—	継続
挑戦的研究(萌芽)	大石 真也	薬品化学分野	20K21252	鏡像抗体様分子の探索プラットフォームの構築と機能分子探索への応用	3,120,000	継続
挑戦的研究(萌芽)	勝見 英正	薬剤学分野	19K22982	アミノ酸クラスターに基づく腎臓のハイブリッドDDSによる腎臓診断・治療法の開発	2,210,000	継続



歴史資料室だより ー本学創立者中川重麗研究の最新成果ー

京薬会 歴史資料室委員長 鈴木栄樹

中川重麗（1850-1917）については、「近代京都のマルチタレント」として、本誌や『京薬会誌』誌上などにおいて、私が幾度か紹介してきた人物です。何よりも本学にとって重要なことは、1884（明治17）年4月27日に、本学の起源となる京都私立独逸学校が現在の中京区内に創立された際、レーマン会の一員で、京都府御用掛であった中川がその計画者だったことです。つまり、本学創立者（の中心的人物）と言えます。また、それにとどまらず初代の校主となったこと、その後も私立京都薬学校の理事を務めるなど、本学の歴史に欠かせない人物です。最近、この中川の業績を本格的に分析した2冊の研究書が相ついで刊行されましたので、ここに紹介させていただきます。

まず一つは、学習院大学文学部の安部清哉教授ほか同大学に学んだ3名の女性研究者による『明治初期理科教科書の近代漢語』（花鳥社、2021年2月刊）です。サブタイトルが、「中川重麗『博物学階梯』にみる実態」とされていますように、中川が1877（明治10）年から1880年にかけて刊行した博物学教科書とその教授本などを分析し、ドイツ語の原語が漢語（漢字熟語）として翻訳されていく変遷の様相を明らかにしています。なお、博物学とは、動物学・植物学・鉱物学などの総称で、薬学の起源となる学問です。近代日本の黎明期における中川の先駆的な業績に光を当てた研究書と言えます。

中川は、四明という俳号をもち、明治・大正期の関西俳壇で知られた人物です。明治後期の俳句革新運動において、東の正岡子規、西の中川四明と並び称されてもいます。根本文子（あやこ）氏の『正岡子規研究-中川四明を軸として-』（笠間書房、2021年3月刊）は、俳人四明を子規との関わりのなかでとりあげた研究書です。四明には、本学図書館にも所蔵されている『四明句集』ほか、『俳諧美学』などの著書もあり、俳誌『懸葵』刊行の中心的人物でもありました。

以上、私の筆力と紙幅との関係もあって簡単な紹介となりましたが、多彩な才能を有していた中川について関心をもっていただければ幸いです。なお、両書とも愛学躬行歴史資料室に備えておりますので、興味を持たれましたら、是非とも御来室のうえ閲覧してください。



『明治初期理科教科書の近代漢語』（安部清哉 編著/花鳥社）



『正岡子規研究-中川四明を軸として-』（根本文子/笠間書房）

■衛生化学分野の高山准教授が「2021年度日本薬学会奨励賞」を受賞しました

日本薬学会において衛生化学分野の高山准教授が「2021年度日本薬学会奨励賞」を受賞しました。
また、本演題の内容については薬事日報（2021年3月19日）に掲載されました。

受賞者：衛生化学分野 准教授 高山 健太郎

演題：ペプチドツールの開発が駆動する内分泌・代謝関連分子の機能解明



■日本薬学会第141年会において、本学の学生5名が学生優秀発表賞を受賞しました

2021年3月26日（金）から29日（月）にオンラインで開催された「日本薬学会第141年会」において、
本学の学生5名が学生優秀発表賞を受賞しました。

【学生優秀発表賞（口頭発表の部）】

受賞者：薬化学分野 5年次生 井上 拓美

演題：縮環構造内に硫黄を持つ二核ロジウム触媒と[7]ヘリセン様化合物の合成

演者：井上拓美¹、中村梨那¹、村井琢哉¹、笹森貴裕²、浜田翔平¹、小林祐輔¹、古田 巧¹

(¹京都薬大、²筑波大院数理物質)

受賞者：薬品化学分野 博士課程3年次生 大谷 拓也

演題：大環状BACE1阻害剤における架橋部分岐構造の導入

演者：大谷拓也、小林数也、服部恭尚、赤路健一

【学生優秀発表賞（ポスター発表の部）】

受賞者：薬品製造学分野 博士課程4年次生 松本 卓也

演題：超原子価ヨウ素反応剤と求核剤を用いるβ, γ-置換-γ-ブチロラクトン誘導体合成法の開発

演者：松本卓也、岩崎宏樹、山下正行、小島直人

受賞者：代謝分析学分野 5年次生 赤木 彩希

演題：亜鉛アスピリン錯体のUVB誘発性皮膚炎症に対する抑制効果

演者：赤木彩希、小森靖子、西藤有希奈、有光健治、安井裕之

受賞者：臨床腫瘍学分野 博士課程2年次生 安藤 翔太

演題：アセトゲニン誘導体JCI-20679はAMPKの活性化とNFAT1発現低下を介して膠芽腫幹細胞の増殖を抑制する

演者：安藤翔太、小島直人、茂山千愛美、藤田貢、飯居宏美、中田晋

※学年は受賞当時のもので掲載しています

■ 本学で開催したLehmannプログラム修了式が薬事日報に掲載されました

2021年3月14日に本学で開催したLehmannプログラムの修了式が薬事日報（2021年3月24日）に掲載されました。

薬事日報

2021(令和3)年3月24日

京都薬大

プログラム1期生修了

認定薬剤師へ技能学ぶ

京都薬大は14日、専攻プログラムを修了した薬剤師・認定薬剤師の修了式を開催した。初年を支援する「リーマン」度は資格取得の基となる。

京都薬大は14日、専攻プログラムを修了した薬剤師・認定薬剤師の修了式を開催した。初年を支援する「リーマン」度は資格取得の基となる。

過去に掲載記事については
本学公式Webサイトよりご覧ください。
<https://www.kyoto-phu.ac.jp/compendium/paragraph/>

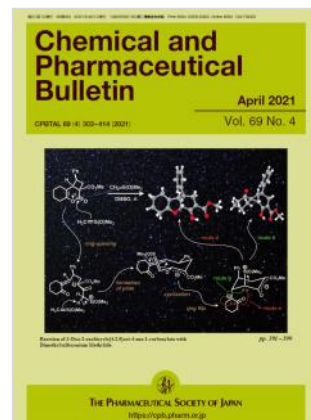


■ 薬品製造学分野の論文に関連するイラストが「Chem. Pharm. Bull.」4月号の表紙カバーとして選定されました。

掲載雑誌：Chem. Pharm. Bull., 2021, 69(4), 391-399.

タイトル：Reaction of 3-Oxa-2-oxobicyclo[4.2.0]oct-4-ene-1-carboxylate with Dimethylsulfoxonium Methylide

著者：Yun-Han Hsieh, Hiroki Iwasaki, Yumina Iwai, Yuki Tanabe, Rinako Taketomo, Suzuna Yamanishi, Yuichiro Tanaka, Naoto Kojima, Masayuki Yamashita



下記の方々からご寄附をお寄せいただきました。ご協力ありがとうございました。

* 高額のご寄附（10万円以上）を頂いた方は、京都薬科大学奨学金規則及び学生便覧に掲載させていただきます。

* 敬称略、芳名のみ掲載しております。

* 100万円以上を頂いた方は、愛学館エントランス『京都薬科大学 高額寄附者顕彰銘板』にも掲載させていただきます。

2021年3月～2021年5月にご寄附をお寄せいただいた方々

＜卒業生・同期会等（五十音順）＞

浅野 元	進藤 広彦
蘆田 康子	高美 時郎
東 富雄	高美 美鶴
大嶋美奈子	武田 禮二
楠山 龍	中森 省吾

＜卒業30周年記念募金（平成3年卒業生）＞

平成3年卒業30周年記念募金一同

＜卒業50周年記念募金（昭和46年卒業生）＞

市川 博

＜保証人＞

宮崎 悦子

＜法人役員・評議員・職員等（五十音順）＞

松田 敏（元職員）	松田 久司（名誉教授）
-----------	-------------

（2021年5月31日現在）



KPU NEWS No. 206 2021年7月発行／編集：KPU NEWS編集委員会

発行：京都薬科大学 〒607-8414 京都府京都市山科区御陵中内町5 ☎075-595-4691（企画・広報課）

※本誌掲載の文章及び写真の無断転載を禁じます。